



第 154 号

社協の事業は、皆様の「会費・寄付金」などによって支えられております。



# 社協だよY

平成23年1月15日発行 社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東5条3丁目 サポートセンターしぶつ内(TEL22-3012)  
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>

## わからちあう幸せ



東丘ひまわり保育園



ボランティアサークルむぎの会



お喜楽亭 勇気

**第29回歳末チャリティーふれあい演芸会**

ボランティアサークルむぎの会主催の「第29回歳末チャリティーふれあい演芸会」が12月5日に士別市民文化センターで満員の観客を集めて行われました。

当団体は、16団体3個人約200人が出演して琴・舞踊・遊戯・一輪車・バンド・フーラダンス・吹奏楽・落語等バラエティーに富んだ内容で訪れた観客は、多彩なステージに終始大きな拍手を送っていました。

益金は、四十九万五千五百八十円という大きな金額となり「歳未たすけあい募金」として士別市共同募金委員会に寄付されました。

ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。



OBバンド



この広報誌は「赤い羽根共同募金」の配分金でつくられています。

## 福祉豊かなまちづくりを目指して

### 第32回 住民福祉活動を進めるつどい

「第32回住民福祉活動を進めるつどい」が11月13日士別市勤労者センターを会場に六十名の参加のもと開催されました。このつどいは、福祉のあり方やノーマライゼーションの考え方を含め住民福祉を更に推進して行くことを願って毎年開催しています。今回は大阪から国際協力NGOのJPCOMを設立し、フィリピンを中心に経済的貧困層や障がい児・者とともに地域とくらしを作るコミュニティケアに取り組んでいる桑原英文さんを講師にお招きして「子どもたちの笑顔が広がる地域社会」と題して講演を行いました。桑原さんは、活動の拠点であるフィリピンの現状について国内では自然災害で毎年2000人が犠牲となり、20万人～25万人のストリートチルドレンがいることや460万人は読み書きができない人たちであることを説明されました。子は宝、地域は畑の地域づくりで子ども達の笑顔で広がる「ちいき」と「く



らし」を創ることを目的に、農村部では、経済自立支援、山間部では、障がい児・者の自立支援の取り組みを現地の人たちと共同で進めているとお話しされました。さらに、住民自治衰退や減退、孤独死、格差社会の進行が進むと予測される中での地域作りについても「どうすれば良くなるのか考えよう」と参加者に呼びかけていました。



リティー第26回カラオケ選手権大会が12月12日に士別市民文化センターで満員の観客を集めて行われました。今回の選手権には20人が出場してそれぞれが自慢のなどを披露しながら優勝を目指して熱唱しました。今回までのチャンピオンが出演。また、ゲストコーナーでは第23回から第25回までのチャンピオンが出演。また、賛助出演として日本現代舞踊徳本流すらん会士別教室の人たちが踊りを披露していただき、訪れた観客は、参加者たちの歌声を楽しんでいました。益金は、三十四万三六六円という大きな金額となり「歳末たすけあい募金」として士別市共同募金委員会に寄付されました。ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。

## 歳末チャリティーカラオケ選手権大会 第26回

### 第8回 盲導犬宿泊体験セミナー開催の案内

盲導犬は、目の不自由な方を安全に目的地に誘導することがお仕事です。このセミナーは、実際に盲導犬との歩行や生活を体験していただくことによって、盲導犬についての知識をよりいっそう深めていただくことを目的としています。参加者には現在訓練中の盲導犬候補生たちをお渡しします。盲導犬ユーザーになりきって、新しい世界へ一歩足を踏み入れてみませんか？

- 日 時 平成23年3月19日(土)～20日(日)
- 会 場 財団法人 北海道盲導犬協会(札幌市南区南30条西8丁目1-1)
- 参 加 対 象 視覚障害による身体障害者手帳をお持ちの15歳以上の方で、これまでに盲導犬との生活を体験したことのない方と、同伴の方
- 申 し 込 み 平成23年2月20日(日) 申し込み締め切り
- 問い合わせ 電話 011-582-8222 FAX 011-582-7715

## ボランティアセンター『掲示板』

### 「災害ボランティア研修会に参加して」

11月14日、前日の住民福祉活動を進めるついに引き続き、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議幹事である「桑原英文さん」を講師に招き、士別市災害ボランティア活動研修会が開催されました。

今回の研修会は、士別市のボランティアだけではなく上川北部の市町村にも呼びかけ、2市6町からボランティア実践者、自治会関係者が参加され、その中には4月に空知管内から上川に管轄が移動した幌加内町のボランティア実践者の参加もありました。

幌加内町は私の住む旧朝日町と似た町でもあり、参加されたボランティアさんとお話しする機会があつたのですが、幌加内町は「災害」に対する備えや取り組みには町をあげて力を入れていることが感じられました。

今回の研修会で印象に残った言葉に「万が一の時の支援を考えることは勿論大切だが、被災者側となつた時の『受援』の心構え」です。これがこそが近隣自治体が連携を図る上で大切なことではないかと思いました。

K.O  
修会でした。  
自然災害の少ない地域ではありますが、萬が一の時には幌加内町も含めた近隣の町が協力し合える関係を日頃から作つていかなければならぬと改めて感じた研修会でした。



## 朝日支部「地域福祉活動」の一年を振り返って

「招魂祭」遺族・来賓他関係者50余名のご臨席を賜わり、厳粛の内にもしめやかに式典が執行されました。

△キャップ・リングブル等の収集に、糸魚川小児童を始め多くの皆さんにご協力を頂きました。

43回目の「朝日町福祉運動会」総勢166名の参加のもと、盛大に開催され楽しい一日でした。



「ふれあい昼食会」  
調理室で準備中のボランティアさん



会食前の研修  
11月は「認知症の予防について」



会食中の会員の皆さん



会食の前に会員が月1度顔を併せ楽しく談笑したり、また調理室ではボランティアの皆さんのが美味しい会食の調理・準備をしていただき、研修の後ボランティアさんからメニューの説明を受け、楽しく美味しい「ふれあい昼食会」でした。



皆様の温かい心 ありがとうございます。  
さまざまな福祉の充実に幅広く活用しています。

平成22年11月1日～平成22年12月31日